

平成22年12月市議会定例会一般質問発言通告書

◎ 個人質問

15番 河合 建 志

1. 県指定の名勝、天神峡の環境整備について

現在、天神峡でトイレの新築工事が進んでおり、入札金額は27,500,000円である。春、夏、秋と多くの観光客を迎えるのにふさわしい設備である。

次の課題は井原方面からもみじ橋を渡ってすぐ左側にある個人所有の駐車場で、夏の川の季節に数日営業するのみで、春の新緑、秋の紅葉のシーズンにはロープを張って、ほとんど機能していないのが現状である。合併前の旧芳井町時代からの課題と聞いているが、広く一般に開放するための市当局の施策について伺います。

7番 三 輪 順 治

1. 井原市過疎地域自立促進計画について

少子・高齢化の進展や人口減少が続いている井原市。今後の井原市の発展にとって必要不可欠な計画が「過疎地域自立促進計画」。以下の諸点について、市長・教育長の見解を伺う。

1) 過疎地域自立促進計画について

①過疎地域自立促進特別措置法延長の意義について

②改正前過疎地域自立促進計画に盛り込まれた事業で実現出来なかった事業とその理由について

③本市の独自性・創造性を活かしたソフト事業の中身について

2) 本市の小規模高齢化集落（限界集落）について

- ①限界集落の実態と行政課題をどうとらえているか
- ②限界集落を対象とした事業の展開について

3) 新規事業について

- ①新規事業のうち、「市立高等学校の整備」、「介護老人保健施設の整備」の構
想・計画について
- ②グラウンド・ゴルフ場整備事業の進捗状況と今後のスケジュール及び全体事
業費の概算、利用者・使用料見込み、年間維持費、また施設管理手法につい
て

2. 新年度予算編成方針及び組織機構について

昨今の円高、依然として進むデフレ、新卒者の就職氷河期といった中であって、本市経済を取り巻く環境も依然として厳しい。市民生活に直結した、保健・福祉・医療・介護の充実、教育・文化の振興、道路等のインフラ整備など、新年度本市予算編成に対する市民の期待は大きい。

一方、市長のマニフェストの実現や行政情報の共有化、市民協働の推進、さらに、複雑に絡み合った行政課題等に対し、機動的に対応できる組織の新設が望まれる。

以下の諸点について、市長の見解を伺う。

- 1) 新年度の市税等主な自主財源の見通し及び新年度の予算編成の重点項目について
- 2) 予算編成前における「事業評価システム」について
 - ①構成メンバーと対象事務・事業数、評価項目及び評価結果の概要について
 - ②次年度への評価結果の反映について
 - ③市民や有識者等外部の目から評価するシステム導入について
- 3) 市長のマニフェスト実現、行政改革、危機管理、政策評価・推進、市民との協働等を総合調整することができる組織の新設について

1. 子どもの医療費無料制度を新年度から通院も中学校卒業までに拡大を

市長は、10月市議会で子どもの医療費の拡大について「子育て世代から強いご要望があることは充分承知している。無料制度を、通院も中学3年まで拡大することについては、来年度当初からというご提言でございます。私（市長）としましては、来年度当初からという思いでございます。しかし、あくまで医師会の協力なくしてはできない問題でありますので、議会が終了後、特に早い段階で医師会と協議の場を持ちたいと考えている。」とお答えになりました。

医師会と協議の結果、新年度から実施できそうですか。

2. 住宅リフォーム補助制度の創設を

市長は、10月市議会で「私（市長）個人としても大変関心がある事例です。これまで井原市として経済波及効果は試算したことはありません。他市での住宅リフォームの補助制度を実施している自治体は、22年3月末現在で、全国で154の自治体は何らかの形で補助している。今後、市内における経済波及効果を試算し、本市の財政状況等を勘案しながら、今後の経済状況や、国・県の動向を踏まえて調査・研究をしていきたい。」とお答えになりました。

このことを実施することで、関係業者や住民に大きな経済波及効果を生み出すことは明らかです。調査・研究の結果、新年度から実施できそうですか。

3. 幼・小・中・市立高校の普通教室にエアコンの設置を

今年夏の暑さは異常でした。そのような中で子どもたちは、汗を流しながら頑張ってきました。暑さに気をとられて勉強のほうがおろそかになる傾向もあったようです。

そこで、幼・小・中・市立高校の普通教室にエアコンを設置し、児童・生徒が勉強に専念できる環境づくりをしてはどうですか。

4. 厚労省の「放課後児童クラブガイドライン」に沿って、市としてすべきことを忠実に具体化を

平成21年度以前3年間の児童クラブ全体での主なケガ・事故等が毎年度10件程度発生している。これに対する十分な気配りと、指導員数の改善が必要なクラブへの重点的な援助をしてはどうですか。

平成19年10月の厚生労働省の「放課後児童クラブガイドライン」に基づいて、統一的基準（マニュアル）の作成など、市としてやるべきことは何々が示され、その内できてないものを今後どうされるおつもりですか。

5. 男性職員の育児休業の取得環境の一層の整備を

いま、全国的に男性の育児休業が話題になり、注目されています。井原市でも、平成21年度以前5年間の取得状況は、女性は出産数と同じ程度取得されていますが、男性の取得は5年間で1件だけです。

この状況を見て、男性は非常に取得しにくい環境にあると推察されます。男性も女性と同じように、職場に気兼ねなく安心して取得できるような環境整備が大変重要だと考えます。取得しやすいような環境整備はどんなものが考えられ、今後どのように取り組んでいけますか。

6. 以前の私の質問に対するその後の検討結果はどうなっていますか

1) 井原市ふれあいセンターへ、エレベーターか自動昇降機の設置を（平成21年6月議会で質問）

答弁：エレベーターについて、スペースの問題、あるいは現在開催をしている講座への影響、あるいは利用状況等を勘案して検討をしてみたい。

2) 美星町内に児童会館の建設を（平成21年12月議会で質問）

答弁：研究・検討していきたい。

3) 薬師橋の欄干を高くしてはどうですか（平成22年6月議会で質問）

答弁：笠岡市と協議を行いながら、安全対策を実施したい。

1. 公共工事及び物品役務における執行状況及び23年度の考えについて

本年度、公共工事及び物品役務の発注の状況、市内業者の落札率と現状景気が上向かない中、23年度公共工事、物品役務の発注に関する市の考えを伺う。

2. 幼稚園への給食実施後等について

給食実施について円滑な流れでトラブルは無かったか、また給食実施後の園児の降園時間について伺う。

3. 放課後児童クラブ（学童保育）等について

児童クラブ（学童保育）での子供たちの怪我の状況について伺う。

また市には13の児童クラブがあるが各クラブの人員の状況、指導員数の状況を伺う。

4. 市民病院を活用した病児、病後児保育について

子育てのしやすさの観点から病児、病後児保育について市ではどのように考えているのか伺う、また公共が病児のお迎えサービスを行っている事例があるが、市民病院を活用した病児お迎えサービス、病後児保育は出来ないものか伺う。

1. 買い物弱者対策について

過疎化・高齢化等の社会状況の変化に伴い、市街地や中山間地を問わず日常生活に必要な食料品や日用品の買い物に不自由する高齢者が増えています。実態調査によれば、全国で600万人、中国地方で31万9千人と推測されています。

この問題は今後、大きなニーズになると考えます。全国では、宅配・移動販売・店舗への送迎、また、NPOや企業・団体の多彩なサービスが紹介されています。

国では、平成22年度補正予算で地域商業活性化事業費補助金（買い物弱者対策支援事業）の取り組みを始めます。本市としても事業内容を考慮し、本市の対

策を考えては如何でしょうか、また、市内の事業者への働きかけも必要と考えますがあわせて伺います。

2. 芝生化の推進について

1) 今年、3月と6月の議会において児童・生徒に対し良好な教育環境と教育効果を提供するメリットが大きく期待される校庭の芝生化推進について伺いました。その際、教育長は教育効果には期待しつつも実施に向けては慎重な答弁でありました。その内容は地域や保護者、学校と研究してまいりたいとのことでしたが、その後の対応について伺います。また、私が視察した鳥取方式についての感想と今後の対応について伺います。

2) 市内の公園や河川敷などの芝生化による市民の憩いの場所の提供についての考えを伺います。

3) リフレッシュ公園多目的広場の芝生化について伺います。

3. 空き家の適正管理について

核家族化や一人暮らし高齢者の世帯主の死亡や転居、また、施設入所などの要因により空き家が増え管理の行き届かない家が見られます。そうした管理不十分な空き家は草木が生い茂ったり、また、老朽化が著しく、台風や豪雨などで倒壊して建材が飛散する危険性とさらには火災や犯罪を誘発する恐れがあります。現状では所有者の管理が優先されるか、又は自治会等での問題解決にゆだねられています。しかし、今年10月、埼玉県の所沢市ではそうした危険抑止の立場から所有者に対し空き家、空き地の適正な管理を助言・指導することが出来る市条例をスタートさせています。本市としてもそうした方向での取り組みは考えられないか伺います。

4. 農作業事故防止対策について

他の業界の労働災害が減少傾向にある中、高齢化に伴う農作業による死亡事故は毎年400人前後と横ばい状況で減少傾向には無く、また、死亡事故のうち65歳以上の高齢者が占める割合は80%近くに達しています。今後、農業従事者の高齢化は著しく進展していく現状の中で、更なる事故の増加が懸念されています。そうした状況下において、今年から農水省でも「農作業安全確認運動」をスタートさせ事故防止に向けた取り組みを展開しています。なかでも、特に農業機械作業時の事故が70%であり、高齢者の農業従事者の多い本市としても事故防止に向け農機メーカーや農業団体との連携を図り事故防止の啓発に力を入れるべきと思いますが市長の考えを伺います。

4番 簗戸利昭

1. 井原市民病院について

- 1) 市民病院の経営状況について伺う。
- 2) 職員の接遇について伺う。

8番 大鳴二郎

1. 災害対策は万全か

最近の各地域での豪雨・風水害等の自然災害による大規模事故は平穏な暮らしを奪い、家庭生活の崩壊と資産の喪失をまねき、生活再建を困難にする要因となっている。特に住宅被害は市民の生活に直結する問題である。災害はいつ我が身にふりかかるかも知れない。安全なまちづくりに向け災害対策機能の強化を推進するのは市に課せられた重要な責務である。市として災害対策機能はどのようになっているか仕組みを伺いたい。

2. 星の郷ふれあいセンターの芝生化について

芝生化は全国的に広がりつつあり、子供達の外でのスポーツや裸足で遊んでいる子もいる。今の時代は中でゲームに熱中している子が多く、意識的に子供達にどう外遊びをさせるか考えないといけない時代と思われる。

また、このグラウンドは救急ヘリコプターの離着陸場になっており、非常時に大きな役割をはたしているが、離着陸時の土ぼこりもすごい。地域活性化のためにモデル的な芝生化を実施してはどうか市の考えを伺う。

11番 宮地俊則

1. 院内保育所の現状と今後の取り組みについて

地域医療の最大の課題である医師不足を解消するひとつの手立てとして昨年12月より井原市民病院内に院内保育所が開設されました。

開設当初は数人の利用であったようですが徐々にその利用、活用が広がってきているようであります。

1) 現在の利用状況と課題、今後の展望をお伺いします。

2) 院内保育所で市民から要望の多い病児・病後児保育を受け入れてはどうか、お伺いします。

2. 教育問題について

1) 平成14年、小中学校の学習指導要領が改訂され、学習内容の大幅な削減、完全学校週5日制の実施、「総合的な学習の時間」の新設など、いわゆる「ゆとり教育」が始まりました。その後、学力低下を懸念される中で、新たな授業時間を確保するために「2学期制」が検討され、平成18年からは市内全校で導入されました。

その後19年には全面的な見直しが示され、その年の12月議会で私は「2学期制」について導入した成果・問題点などについての質問をさせていただきました。

総じて「まだ始まったばかりなのでメリットを生かした取り組みに努力していきたい」といったお答えでありました。

3年前の質問では「2学期制」が始まったばかりでしたが、4年がたった現在、「2学期制」に対する現場の教師や保護者、教育委員会内部の意見はどうなのでしょう、お伺いします。

また、いよいよ来年度より小学校で、再来年度より中学校で、新たな学習指導要領が実施され、総合的な学習の時間の削減と主要科目の授業時間増加、前回削減された内容の復活が図られることとなります。

「2学期制」について根本的に検証する 때가来ているように思いますが教育長のお考えをお伺いします。

2) 公立中学校に平成24年度から武道が必修化されることとなっています。以前あったものが復活するのだと思われそうですが、実施まで後1年余りとなった現時点での計画やその内容をお伺いします。

3) 今年度より待望の幼稚園給食が実施されました。まだ期間は短いようですが、現場での様子、保護者・先生方の反応はどうでしょうか、お伺いします。

3番 上野安是

1. 学習支援員、生活支援員の充実について

市内小中学校において、きめ細やかな学習指導、学習支援を行うために今以上に学習支援員、生活支援員の充実を図るべきではないでしょうか。市の考えを伺います。